

令和6年度飼料用大豆・高栄養 TMR 生産調製実証事業に係る現地研修会  
開催要領

1. 趣旨

家畜のタンパク源として利用される大豆粕等の多くは輸入に依存しておりますが、近年、価格が高騰し、安定的な入手が懸念されています。このため、飼料用大豆・高栄養 TMR 生産調製実証事業においては、リビングマルチとしてイネ科牧草等を導入して雑草抑制を図り、国産の大豆 WCS を栽培・利用する技術の実証・普及に取り組んでいます。

本研修会では、農研機構で開発された、リビングマルチを活用した飼料用大豆の基本的な栽培方法について、九州地域の気候に合わせて導入された体系の紹介を行い、地域における飼料用大豆栽培の取組をより普及拡大させることを目的としています。

2. 日時

令和6年8月2日（金）11:00～16:00

3. 主催

一般社団法人日本草地畜産種子協会

協力：農研機構九州沖縄農業研究センター

4. 開催場所

農研機構九州沖縄農業研究センター（熊本県合志市須屋2421）

一般社団法人日本草地畜産種子協会九州試験地（熊本県合志市竹迫1740）

5. 内容

[会場：農研機構九州沖縄農業研究センター 研究交流センター1Fセミナー室]

(1) 開会あいさつ 11:00～11:05

一般社団法人日本草地畜産種子協会 専務理事 田中 誠也

(2) 九州沖縄農業研究センターでの飼料用ダイズ栽培の取り組み 11:05～11:30

農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 上級研究員 後藤 慎吉

(3) 飼料用大豆の栽培上のポイントについて 11:30～11:55

農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 上級研究員 金子 真

昼休憩 [昼食はセミナー室でお取りいただけます] 11:55～13:00

(4) 九州試験地での飼料用ダイズ栽培の取り組み 13:00~13:20  
一般社団法人日本草地畜産種子協会九州試験地 所長 土方 浩嗣

(5) 株式会社アグリパートナー宮崎での飼料用ダイズ栽培の取り組み 13:20~13:50  
株式会社アグリパートナー宮崎 開発事業部長 太刀川 克之

[会場：農研機構九州沖縄農業研究センター、九州試験地の試験ほ場]

(6) 飼料用大豆栽培ほ場の現地視察 14:00~16:00  
※現地にて閉会 16:00  
希望者は終了後に熊本空港へ送迎（到着は17:00 予定）

#### 6. 参集範囲

都府県関係機関、市町村、農協、報道各社、種苗会社、(一社)日本草地畜産種子協会会員、全国コントラクター等経営高度化推進協議会会員

#### 7. 申込み手続き

- 同封別添1の参加申込書に必要事項を記入し、令和6年7月26日(金)までに事務局へメール又はFAXでお申し込み下さい。

#### 8. その他

- 天候等の状況によっては、内容が変更になる場合があります。

- 参加予定枠：60名程度

※参加予定枠に達した時点で申込みを〆切らせていただきます。

(お問い合わせ)

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

草地畜産部 橋本

東京都千代田区神田紺屋町8NCO 神田紺屋町ビル4階

TEL 03-3251-6501 FAX 03-3251-6507

MAIL r-hashimoto131@souti-fsa.or.jp